

令和元年～令和4年まで
4年間の主な取り組み

駅前開発・商業関連

- うれしーとキャンペーンの実施
- 高石駅羽衣駅の高架化後の整備
- アプラたかいし2Fの改装等
- 議員定数を
16名→15名に1名削減を実現

地域や福祉関連

- 福祉バスの3便体制
- 公民館の修繕

教育関連

- 子供医療費の
高校卒業までの拡充
- 小中学校の空調、
トイレの洋式化の整備



松本よしひろ市政報告会を12年間で100回以上開催し、市政報告と皆様の声を伺いカタチにして参りました。



自治会活動や地域の防災活動に積極的に取り組み、地域の皆様と対話してきました。



小中学校のPTA活動を5年、子供会活動を9年間行い、児童に近く学校や地域教において政策を提言してきました。PTA活動では、高石中学校では平成30年に夏の熱中症対策としてウォータークーラーの設置。東羽衣小学校では図書室の蔵書を増やすため寄贈本（2年間で1100冊以上）、児童スマホのルール化、放課後の小学校校庭を使った遊び場づくりに取り組む。



オープンより19年間アプラたかいし商店街の理事長又は販促委員長を務め、地域の商業や駅前活性化に取り組む。



児童の通学路など地域や保護者の意見を伺い、出来ることからコツコツと実践。

松本善弘 市政報告会のご案内

・2月18日(土)10時～ 東羽衣公民館 1F集会室(東羽衣3-15-30)

体調管理、うがい、手洗い、マスクを着用してご参加下さい。
コロナ情勢により開催が急遽中止となる可能性もあります。
ご来席の場合は、松本までお問い合わせください。

〒592-0003 大阪府高石市東羽衣3-15番16号
携帯 090-9041-0540 E-mail m-yoshihiro@syd.odn.ne.jp

松本よしひろプロフィール

妻、2男1女の5人家族
高石市第十区子供会会長、高石市第十区奉賛会会長、高石市こども会育成協議会副会長、アプラたかいし商店街理事長兼販促部長、アプラホール実行委員会委員、高石商工会議所青年部所属、東羽衣小学校元気広場コーディネーター、元東羽衣小学校・高石中学校PTA会長、堺高石青年会議所OB

NEWS vol.42

高石市から大阪、 日本の未来を考える！

すべての世代が支え合い、希望のあるまちへ

高石市議会令和4年度 第4回定例会報告

松本よしひろ

高石市議会議員 松本善弘(高志会所属)です。
令和4年4回定例会(11月30日～12月8日)の報告をさせていただきます。



学校給食の無償化への取り組みを 3学期の小中学校の給食無償化を実現！

12月議会では、高志会より、一般会計補正予算の修正案を出しました。それは、補正予算の一部を電力や物価の高騰に疲弊している市民に対して、生活保障につながる学校給食の給食費への補填に充当し、子育て世帯の負担の軽減に繋げてほしいというものです。(※市長に財源の裁量を委ね、結果的に原案の内容になってもよいものにしていました) 本会議でも高志会からの提出した修正案が、賛成多数(賛成9:反対5)で修正案が可決。しかし、市長から再議が提出され、再度採決し、賛成少数(賛成9:反対6)で修正案が否決となりました。(※再議の場合は2/3の賛成が必要な為)

ところが、議会閉会後に、教育委員会が
3学期の小中学校の無償化を決めました。



12月は人事院勧告による公務員の給与改定があり、給与アップ額は約1509万。(一般職、特別職等)本市職員の平均給与は643万。民間の平均給与は443万と、格差は1.5倍近い。高石市の財政は、実質公債費率(地方公共団体の一般財源総額に占める公債費の比率)は、大阪府の市の中でも最も悪い数値であり、その中で人事院勧告による給与の支出が約1500万あれば、物価高の中、より有効に市民サービスを使えることを指摘し反対を表明。

01

自ら稼ぐ町にする



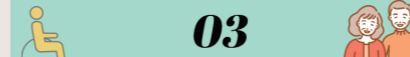
02

安心して子育て・
教育ができる町にする



03

地域や高齢者に
やさしい町にする



04

駅前が魅力的な
町にする



05

地域が活性化し
防災に強い町にする



バブル崩壊、リーマンショック、相次ぐ消費増税、さらに追い打ちをかけるようなコロナショック、電気代の高騰、物価高が続いています。これまでの市政活動で多くの市民の皆様からご意見を頂いて参りました。その意見の中には「老後の不安」「子育て・教育への不安」「防災や安全への不安」「行政への不満」等がありました。「市民の皆様の声カタチ」にし、高石市が未来に誇れる町へと創って参ります。

01 自ら稼ぐ町にする

① ふるさと納税の強化

令和3年度で1億7000万以上の収支赤字(地方交付税で控除額の75%が補てんされる)のふるさと納税の強化(年々減収が大きくなっているふるさと納税への戦略を、人員・予算などの資源を優先的に配分し、黒字化する)



② 市有財産の活用

・20年間放置された旧市民会館跡地の有効活用を実現(スポーツ利用者との関連事業)
・ライフケアセンター内に浜寺公園の南側の駐車場として開放し、浜寺公園の利用促進とライフケアセンターの収益改善につなげる。



③ 行政のスリム化

高額なコンサル料など予算の無駄を最大限取り除き、さらなる民間委託などの行政のスリム化により、財源をねん出する。(歳入増と支出の削減)



02 安心して子育て・教育ができる町にする

学校給食の無償化、おむつの無償配送を実現。

(子育て世代を応援)



学校図書室の蔵書の強化

(市内小中学校は標準冊数の60~70%しか蔵書がない)
司書を増員し、読書ができる環境を整備する。

→学力や教育の向上につなげる。

市立図書館の整備

(20年目になる市立図書館を整備し、市民の居場づくり、読書、子供の読み聞かせの充実、郷土資料の展示、自習室の強化)



子どもが遊べる環境を整備する

(地域の公園や小学校の校庭で児童が自由に遊べる環境を作る)

※12月議会で、子供が遊べる環境整備を指摘。
※委託業者と契約し、子供が元気に小学校校庭で遊べる環境を作る。



03 地域や高齢者にやさしい町にする

- ① 福祉バスの増便を実地し、お年寄りに優しい交通にする。
- ② 公共施設のトイレの洋式化、バリアフリー化を実現する。
- ③ 介護者の機能回復を推進する。



04 駅前が魅力的な町にする

- ① 南海高架化している高石駅・羽衣駅周辺の開発を推進する。
※特に羽衣駅では、羽衣駅東側北用地を含めた一体的な開発を推進する。
※12月議会では、夕方や雨天時の羽衣駅東側道路の混雑対策を指摘。
- ② JR 富木駅の高架化を推進する。
- ③ 高師浜駅・伽羅橋駅周辺の活性化を推進する。



05 地域が活性化し防災につよい町にする

① (防災・防犯、生活等) 行政情報の発信の強化

あらゆる手段を効果的に使い、市民に必要な情報を的確にお届けします

② 各小学校区での防災教育(防災の情報の共有)、勉強会の充実

③ 自主防災組織の強化・実践的な防災訓練の実施

④ 地域活性化策を強化する。(コロナ禍で疲弊した自治会・祭り等の地域活動を支援)

- ・高石市有価物集団回収奨励金の引き上げ(自治会・子ども会活動の活性化支援)
- ・公民館や自治集会所の整備や支援を行い、地域拠点を強化。

⑤ ゴミ処理券の枚数の見直し、ゴミ袋の併用

⑥ 緑化推進、園芸用のゴミ袋を無料回収